

inochi tendenko

あの日、

津波が押し寄せる中、釜石東
中学校の生徒だった菊池のどかさんは、
隣の鶴住居小学校の子どもたちと手を取り合
い、命をつなぐ避難を果たしました。「釜石の奇跡」と
呼ばれたあの出来事から15年。いのちを守る行動の大切
さを、今あらためて語ります。

東日本大震災から
15年

講師
菊池 のどか 氏

1995年、岩手県釜石市生まれ。釜石東中学校在学中に東日本大震災を経験し、避難を通して「いのちを守る行動」の大切さを実感する。その後、語り部として震災の経験を伝える活動を始めるが、「伝えること」と「自分の中で向き合うこと」の間で葛藤を抱き、一度防災の現場を離れる。岩手県立大学では地域文化の保存や植生学、地理学など環境分野を学び、自然と人の関わりを多角的に見つめ直す。卒業後は株式会社がまいしDMCに入社し、「いのちをつなぐ未来館」で展示制作や来館者対応を担当。現在はフリー・ランスの語り部として、いのちを守る行動の大切さを、やさしく語り伝える活動を続けている。

参加無料

【参加対象者】八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町の在住者
手話通訳あり

2026

2.1 日曜日

13:30 ~ 15:00

13:00 受付開始

八戸市 市民防災研修会



詳細はコチラ→



[定員] 先着100名 程度

- [申込方法]
- 電話
 - FAX
 - メール
 - 申込みフォーム

八戸市津波防災センター 研修室A (八戸市沼館4-6-19)

お申し込み・お問い合わせ

電話

0178-43-9564

FAX

0178-45-0099

申込みフォーム

メール

saitai@city.hachinohe.aomori.jp

